

新生児聴覚検査にかかる費用の助成について

❖ 「新生児聴覚検査受診票」を使用することで助成が受けられます



◆産後間もない赤ちゃんが行う「新生児聴覚検査(初回検査)」にかかった費用を助成します。

新生児聴覚検査を受ける時に、「新生児聴覚検査受診票」を提出してください。

使用時期 助成金額	検査項目
入院中または生後1か月以内 助成額：初回検査にかかる全額	自動聴性脳幹反応検査(AABR) または 耳音響放射検査(OAE)

新生児聴覚検査とは？

赤ちゃんの聴覚に異常がないかを早期に発見するための検査です。
生まれつき両側の耳の聞こえに異常があるお子さんは、1,000人に1~2人と言われているとされています。多くは出産した医療機関で、出生後2日~退院前に行われます。
赤ちゃんが眠っている間、5分程度ででき、痛みは全くありません。
検査結果は、「パス」「要再検(リファー)」のどちらかで、入院中にわかります。

初回検査で「要再検(リファー)」の判定だったら？

初回検査の数日後に確認検査をします。確認検査でさらに要再検(リファー)となれば、専門の耳鼻咽喉科で精密検査を受ける必要があります。精密検査が必要となっても、必ず耳の聞こえが悪いとは限りません。

もし聴覚障害が発見されても、早期の処置と療育で、言語の発達は良好になるとされています(療育は生後6か月頃までに開始が望ましいとされています)。